

第3回かごしま都市マスタープラン策定協議会の会議記録【概要】

会議の名称	第3回かごしま都市マスタープラン策定協議会
開催日時	令和2年8月17日（月） 14時00分～15時30分
開催場所	鹿児島市役所 東別館3階 災害対策本部室
出席者 （委員）  （事務局）	委員21名（うち1名代理出席）、欠席5名、事務局 石塚会長、馬場委員、新崎委員、西委員、岩崎委員、檜林委員、川畑委員、福永委員、亀井委員、緒方委員、矢上委員、永山委員、鈴木委員（代理）、金平委員、保利委員、寺地委員、松山委員、江口委員、原村委員、福岡委員、古市委員 福留建設局長、北野都市計画部長、阿部都市計画部参事（都市計画課長）、山中都市計画課主幹、その他都市計画課職員
傍聴者数	2名（報道関係者1名、随行者1名）
事務局	鹿児島市 建設局 都市計画部 都市計画課
会次第	1 開 会 2 委員紹介（変更委員のみ） 3 今回の議題と策定までのフロー 4 第2回策定協議会における意見への対応方針 5 議 事 （1）都市マスタープランの名称 （2）第二次かごしま都市マスタープランの骨子案 6 閉 会
主な意見等	○ 都市マスタープランの名称については、「第二次かごしま都市マスタープラン」で異議なし。 ○ 基本理念の「多様な主体による協働の都市づくり」の「地域貢献」は、広い概念であるため「地域創生」や「地域共創」の方がよいのでは。 ○ 新型コロナウイルス感染症への対応策があまり触れられていない。新しい生活様式への対応をどう取り込むか検討してほしい。 ○ 「快適で移動しやすい都市」に、乗合タクシーの観点も盛り込んでほしい。 ○ JR 磯新駅について、県バス協会は反対の立場である。都市マスタープランには掲載しないでほしい旨の発言があったことを議事録に残していただきたい。 ○ 子育て支援については、小さい子供たちが主な対象になっているように見える。もっと中高生向けの施策も盛り込んでほしい。 ○ 若い世代がマスタープランを通じてまちづくりを身近に感じるアプローチやまちづくりへの参画意識の醸成ができるよう取り組んでほしい。